

科目責任者 駒田 陽子 (心理学研究室)

■ 教育目的

薬剤師法の一部改正にともない、薬剤師は医療人の一員であることが明記されるとともに他の医療人や患者に適切な医薬品情報を提供することが義務づけられた。本講義の目的は、将来、薬剤師ないしは薬学研究者等として従事することになる医療機関等において、患者や職場の同僚と良好な対人関係を形成・維持するために、人間関係の基礎理論や対人関係スキルに関する認識を深めることにある。

■ 学習到達目標

1. 人間関係に関する基本的な知識やスキルについて理解する。(知識、態度)
2. 人間関係の諸相に関する適切な対応方法について理解する。(知識、態度)
3. 医療現場における人間関係のあり方について理解する。(知識、態度)

■ 準備学習 (予習・復習)

予習：特に必要ない。

復習：前回の講義内容を20分程度復習してから次回の講義に出席すること。

■ 授業内容

No.	項目	授業内容	SBO コード
1	オリエンテーション	薬学生が対人関係論や医療コミュニケーション学を学ぶ必要性。自己開示、心理的距離、動機づけ	
2	医療現場の人間関係 (1)	医薬品開発に係る人々	A(4)-①-1~5
3	医療現場の人間関係 (2)	医療スタッフと薬剤師の関係	A(4)-①-1~5
4	医療現場の人間関係 (3)	患者と薬剤師の関係	A(4)-①-1~5
5	人間関係の基礎理論	対人魅力、印象形成	A(3)-①-4~6
6	人間理解の方法	自己理解、他者理解のための交流分析	A(3)-①-1~9
7	組織の人間関係	リーダーシップ、サーバントシップ、接遇、敬語	A(3)-①-7~9
8	人間関係とコミュニケーション	気持ちの伝え方・受け止め方、パーソナルスペース、コミュニケーションギャップ	A(3)-①-1~9
9	人間関係とコミュニケーション	ティーチング、コーチング、カウンセリング	A(3)-①-1~9
10	高齢者への接し方	高齢者や理解が難しい人への接し方	A(3)-①-1~9
11	高齢者への接し方	認知症、中核症状、行動心理症状	A(3)-①-1~9
12	リスク管理と人間関係	ヒューマンエラー、ハインリッヒの法則、予防型安全、多重安全	A(1)-③-1
13	患者心理と健康行動	行動変容のステージモデル、健康教育	A(3)-②-1~2
14	患者心理と健康行動	行動変容のステージモデル、健康教育	A(3)-②-1~2
15	まとめ	まとめと補足	

■ 授業分担者

駒田 陽子 (心理学) (No.1、No.5~15)、門田 佳子 (臨床情報評価学) (No. 2)、伊東 明彦 (治療評価学) (No. 3)、町田 いづみ (医療コミュニケーション学) (No. 4)

■ 課題 (レポート、試験等) のフィードバック及び成績評価方法

講義資料を MY-CAST にアップロードし随時質問等に応じる。試験 (80%) および出席・受講態度 (20%) で総合評価を行う。

■ 教科書

プリントを配布する。

■ 参考書

講義時に紹介する。